

平成27（2015）年度 事業報告書



インカレ 長野



世界大学選手権



第一回アジア大学選手権



個人ロード 木祖村



明治神宮外苑大学クリテリウム



1 はじめに

平成27年度（2015年度）は、全日本大学対抗選手権自転車競技大会は長野県で実施され、開設もない松本市美鈴湖自転車競技場、大町美麻ロードコースは多くの観客と関係者で埋まりました

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズは前身である東日本学生クリテリウム・シリーズ創設から11年目を迎え、安定期にはいるとともに、最終戦（明治神宮大学クリテリウム）は三笠宮彬子女王殿下のご臨席を賜るなど一定の社会的評価を得ている。

全日本学生トラック・レース・シリーズも開催数を増やすとともに、参加資格取得のタイムレースと競技経験向上のポイントレース等のバランスをとり、トラック競技やロードレースにおけるスピード面での強化に貢献しています。また、平成27年度最終戦（2016年2月伊豆ベロドローム開催）は本連盟主催「寛仁親王記念ワールドグランプリ」としてUCIカレンダー登録国際大会として開催され、三笠宮彬子女王殿下のご臨席を賜るなど、競技内容の国際化を果たしつつ一定の社会的評価を得ている。

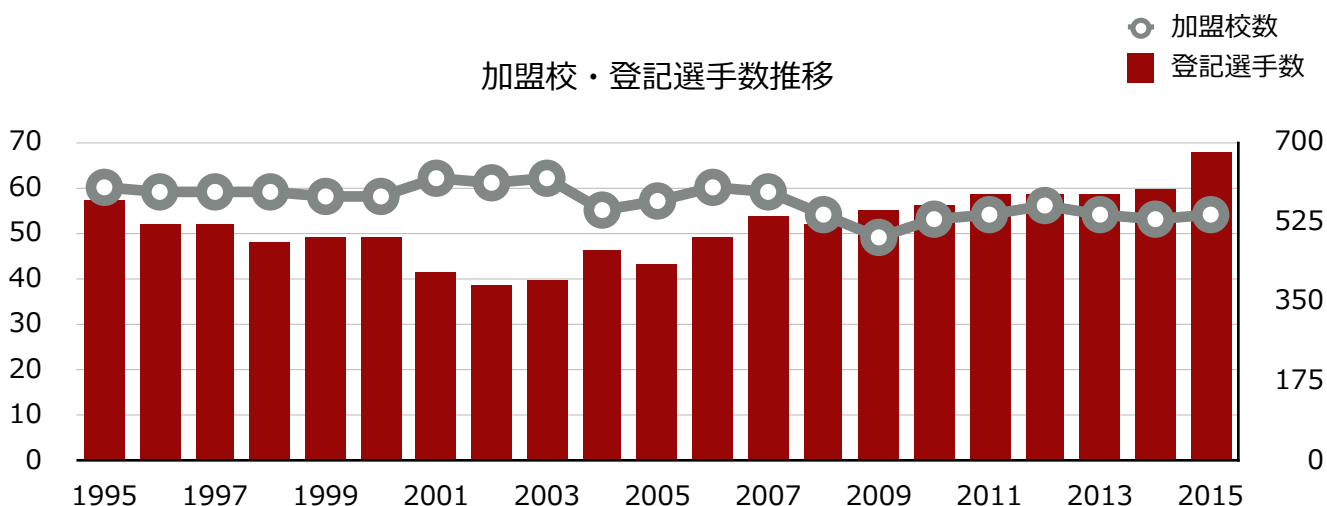
普及啓発活動においては、警視庁と連携した「モデルサイクリスト事業」の実施による交通安全プロモーションを前年に引き続いて推進したほか、改めて加盟校に安全走行に関する注意喚起を行ってきました。

2 加盟校数・登録選手数等の推移

2015年度は加盟校数については、新規加盟と今年度未登録が拮抗し、横ばいとなりましたが、登録選手数は678名と前年対比83名・14ポイントの増加があり、過去最高記録更新となりました。近い将来に100校・1000名を目標としているところでありますが、引き続き加盟校・登録選手増加に向けた努力が必要です。部員数の少ない加盟校が加盟を継続しやすくする施策（一定の指導・運営ノウハウの供与など）と、加盟校空白都道府県での新規加盟校発掘対策が必要と考えられます。

参考：JCF登録競技者数：7,081名(2015年3月)から7,983(2016年3月)に増加している。

西暦	平成	加盟校	男子登録選手	女子登録選手	登録選手計	評議員	賛助会員	審判登録者数
1995	7	60			570	264		140
1996	8	59			517	270		114
1997	9	59	479	38	517	261		
1998	10	59	441	34	475	270		
1999	11	58	461	31	492	278	83	135
2000	12	58	449	31	490		81	180
2001	13	62			412	317	85	176
2002	14	61			386	323	79	151
2003	15	62			397	323	110	148
2004	16	55	429	32	461	323	99	133
2005	17	57	395	33	428	323	76	144
2006	18	60	469	23	492	349	89	161
2007	19	59	505	33	538	351	88	154
2008	20	54	498	22	520	326	83	128
2009	21	49	521	25	546	328	77	125
2010	22	53	531	30	561	355	59	121
2011	23	54	552	30	582	354	63	92
2012	24	56	552	33	585	354	61	98
2013	25	54	555	31	586	357	66	90
2014	26	53	559	36	595	352	60	100
2015	27	54			678	352	82	123



東日本						西日本（静岡・長野・新潟以東）											
CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計	CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計				
1	北海道	北見工業大学				0	16	富山					0				
		札幌学院大学				0	17	石川	北陸大学				0				
		北海道大学	1	8		8	18	福井					0				
		室蘭工業大学				0	21	岐阜	朝日大学	1	46	1	47				
		北海商科大学				0	23	愛知	星城大学				0				
		北海道科学大学				0			愛知産業大学				0				
									中京大学	1	7	3	10				
2	青森	八戸大学				0			名古屋産業大学	1	1		1				
		八戸工業大学				0							0				
		八戸学院大学	1		2	2	24	三重					0				
3	岩手	富士大学	1	9		9	25	滋賀					0				
4	宮城	東北学院大学	1	10		10	26	京都	京都大学	1	18		18				
		東北芸術工科大学				0			京都産業大学	1	13		13				
5	秋田					0			同志社大学	1	14	1	15				
6	山形	山形大学				0			立命館大学	1	16		16				
7	福島					0			龍谷大学	1	5		5				
8	茨城	筑波大学	1	7	3	10	27	大阪	大阪大学	1	5		5				
		流通経済大学	1	5		5			大阪経済大学	1	14		14				
9	栃木	宇都宮大学				0			大阪工業大学	1	10		10				
		作新学院大学				0			大阪産業大学	1	19		19				
10	群馬	高崎経済大学				0								0			
11	埼玉	獨協大学				0			大阪市立大学				0				
		駿河台大学				0			大阪府立大学	1	6		6				
		立正大学				0			追手門学院大学	1	1		1				
		順天堂大学	1	19	2	21			関西大学	1	12		12				
		中央学院大学				0			摂南大学				0				
12	千葉	明海大学				0	28	兵庫	神戸大学	1	5		5				
		木更津工業専門学校	1	5		5					関西学院大学	1	3		3		
		学習院大学	1	6	3	9								0			
		慶應義塾大学	1	26		26								0			
		駒澤大学	1	17	6	23								0			
		芝浦工業大学				0			岡山大学	1	9		9				
		首都大学東京	1	12		12			環太平洋大学	1	8		8				
		成蹊大学	1	7		7							0				
		大東文化大学	1	6	1	7							0				
		中央大学	1	17		17			徳島大学	1	2		2				
		東京大学	1	16		16			香川				0				
		東京工業大学	1	4		4			松山大学				0				
		東都医療大学	1		1	1			高知工科大学				0				
		東洋大学	1	8		8			福岡工業大学				0				
		二松学舎大学				0			久留米大学	1	4		4				
		13	東京	日本大学	1	46		46	41	佐賀					0		
				一橋大学				0	42	長崎					0		
法政大学	1			27		27	43	熊本					0				
明治大学	1			17		17	44	大分	大分大学				0				
明治学院大学						0	45	宮崎					0				
明星大学	1			10	1	11	46	鹿児島	鹿児島体育大学	1	20	4	24				
立教大学	1			11		11	47	沖縄	名城大学				0				
早稲田大学	1			13	2	15			沖縄国際大学				0				
14	神奈川			東海大学	1	24		24									
				日本体育大学	1	18	4	22									
				神奈川工科大学	1	8		8									
		防衛大学校	1	11		11											
15	新潟	新潟大学	1	15	1	16											
19	山梨	山梨学院大学	1	10		10											
20	長野	信州大学	1	13		13											
		松本大学				0											
22	静岡					0											
東日本小計			32	405	26	431	西日本小計			22	238	9	247				
							全国合計							54	643	35	678
														校	男子	女子	合計

3 大会の実施と参加者の推移

本年度事業日程に則り、下記の通り諸大会が実施されました。大会等当連盟主催事業への参加者数のべ人数は6,000名を越え、ここ数年増加を続けています。新規に始められた大会が定着するとともに参加者数が増えてきましたが、既存の個々の大会はそれぞれの受入キャパシティの限界に達してきており、参加者総数の増加にはさらなる大会数の増加が必要な状況です。

年間を通じた大会数・参加機会の確保は競技活動の基本であり、引き続き各都道府県連盟や地方自治体との連携、協賛企業の協力を仰ぎながら、学生競技者の競技参加機会確保につとめ、同時に開催地域における自転車競技振興への寄与を図っていく必要があります。

平成27（2015）年度 日本学生自転車競技連盟 事業実績表（Ver.2）											2016.06.19.	
月	日	曜	大 会 名 等	種別	男子	女子	OPEN	合計	動員数	プログラム印刷数	競技役員	会 場 等
			学連主催選手権大会等									
			全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ									
			全日本学生トラックレース・シリーズ									
4	4	土	全日本学生TRS第1戦	トラック	131	3		134	200	200	25	静岡県：日本CSC 250m屋内トラック
4	18-19	土・日	全日本学生RCS第1戦 葉の花飯山ラウンド(ヒルクライム+クリテリウム)	ロード	151			151	300	300	30	長野県飯山市
			同上第2日目		151			151	300		30	長野県飯山市
4	25	土	第17回 全日本学生選手権クリテリウム大会	ロード	137	7		144	200	200	30	滋賀県東近江市ふれあい公園
4	26	日	全日本学生RCS第2戦（仮称）近江ラウンド(クリテリウム)	ロード	137	7		144	200	250	30	滋賀県東近江市ふれあい公園
5	3-4	日・祝	第35回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	115	4		119	150	200	30	大阪府・岸和田競輪場
			同上第2日目		115	4		119	150		30	大阪府・岸和田競輪場
5	9-10	土・日	第55回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	174	7		181	300	300	30	山梨県笛吹市：境川自転車競技場
			同上第2日目		174	7		181	300		30	山梨県笛吹市：境川自転車競技場
5	16	土	全日本学生TRS第2戦（ポイントレース・スクラッチ）	トラック	87			87	200	200	25	静岡県：日本CSC 250m屋内トラック
5	16-17	土・日	全日本学生RCS第3戦 第17回修善寺オープンロード+女子オープンロード	ロード		15	3	18	300	300	30	静岡県：日本CSC 5kmサーキット
			同上第2日目		190	15	3	208	300		30	静岡県：日本CSC 6kmサーキット
5	24	日	全日本学生RCS第4戦 京都美山ラウンド・ロードレース	ロード	90	4		94	200	200	30	京都府旧美山町
5	31	日	第54回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会	ロード	104			104	300	400	115	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷
6	7	日	全日本学生選手権 第27回全日本学生個人ロードTT自転車競技大会	ロード	159		3	162	300	300	65	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷
6	13-14	土・日	第31回 全日本学生選手権個人ロードレース大会	ロード		13	5	18	250	300	50	長野県木曽郡木曽村奥木曽湖周回コース
			同上第2日目		158			158	250		50	長野県木曽郡木曽村奥木曽湖周回コース
6	20	土	第1回評議員会	会議								東京・岸記念体育会館
7	4-5	土・日	第56回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	203	15		218	350	350	60	静岡県：日本CSC 250m屋内トラック
			同上第2日目		203	15		218	350		60	静岡県：日本CSC 251m屋内トラック
7	19	日	全日本学生TRS第3戦（記録会）	トラック	114	9		123	200	200	25	長野県：松本自転車競技場
7	24-25		第一回アジア大学選手権ロードレース	派遣								韓国、昌寧郡
7	25	土	全日本学生RCS第5戦 WANGANサイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	ロード	145	7	15	167	1,000	400	60	東京都江東区青海
8	1-2	土・日	全日本学生RCS第6戦・第10回 白馬クリテリウムラウンド	ロード	223	6	5	234	1,000	200	30	長野県・白馬町特設サーキット
			同上第2日目		223	6	5	234	200		30	長野県・白馬町特設サーキット
8	27-30	木～日	文部科学大臣杯 第71回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	T&R	194	18		212	500	700	50	長野県・松本市
			同上第2日目		175	18		193	500		50	長野県・松本市
			同上第3日目		160	18		178	800		50	長野県・松本市
			同上第4日目		182	20		202	1,000		50	長野県・大町市美麻地区
9	2-16		欧州遠征事業	ロード								欧州（ベルギー＆オランダ）
9	11-13		ツールド北海道2015（第29回）	派遣								北海道（道北）
9	6	日	全日本学生RCS第7戦 けいはんなサイクルロードレース	ロード	65			65	200	200	25	京都府木津市
9	13	日	全日本学生RCS第8戦・山形村ヒルクライムラウンド	ロード	68	1	5	74	150	150	25	長野県山形村
10	4	日	第51回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	トラック	75	1		76	100	100	35	旧大津びわこ競輪場
10	4	日	第51回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	トラック	134	4		138	200	200	35	山梨県笛吹市：境川自転車競技場
10	10-11	土・日	全日本学生TRS第4戦(オムニアム)	トラック	52	1		53	100	100	20	福島県・泉崎サイクルスタジアム
			同上第2日目		52	1		53	100		20	福島県・泉崎サイクルスタジアム
10	24	土	全日本学生TRS第5戦(東京都選手権併催)	トラック	88	3		91	200	200	25	静岡県：日本CSC伊豆ペドローム
			第21回日韓対抗学生自転車競技大会	トラック	20	10		30	150	200		韓国
11	15	日	全日本学生RCS第9戦東日本大会・浮城の町行田クリテリウムラウンド	ロード	200	6		206	300	300	85	埼玉県行田市・運動公園前
11	15	日	全日本学生RCS第9戦西日本大会・益田チャレンジャーズステージ	ロード	70			70	200	200	35	島根県・益田市
12	5	土	全日本学生TRS第6戦	トラック	96	9		105	200	200	25	静岡県：日本CSC伊豆ペドローム
12	13	日	全日本学生RCS第10戦・埼玉クリテリウム行田第1ラウンド	ロード	157	8		165	200	200	40	埼玉県行田市・古代運の里
2016年												
1	10	日	全日本学生RCS第11戦・埼玉クリテリウム行田第2ラウンド	ロード	129	8		137	200	200	40	埼玉県行田市・古代運の里
1	24	日	全日本学生RCS第12戦・埼玉クリテリウム行田第3ラウンド	ロード	144			144	200	200	40	埼玉県行田市・古代運の里
2	6-7	土・日	全日本学生TRS最終戦・（仮称）JICFトラック国際カップ	トラック	18			18	300	300	25	静岡県：日本CSC伊豆ペドローム
			同上第2日目		67	6		73	300		25	静岡県：日本CSC伊豆ペドローム
2	21	日	全日本学生RCS第13戦・埼玉クリテリウム行田第4ラウンド	ロード	195	9		204	200	200	40	埼玉県行田市・古代運の里
3	12	土	第2回評議員会・大学自転車フォーラム	会議								東京・オリンピック記念青少年センター
3	13	日	全日本学生RCS最終戦・第十回明治神宮外苑大学クリテリウム	ロード	265	19	45	329	8,000	900	145	東京都・明治神宮外苑
3	16-20		第7回世界大学選手権自転車競技（ロード&マウンテンバイク）	派遣								フィリピン・タガタイ
					5,790	304	89	6,183	21,400	8,850	1,810	
			凡例：RCS：ロードレースカップ・シリーズ、TRS：トラックレースシリーズ、									日本学生自転車競技連盟

4 選手権大会の開催

・全日本大学対抗（インカレ）：

長野県松本市・美鈴湖自転車競技場でトラック大会を、長野県大田市美麻地区にてロードレースを開催。日韓対抗代表選手選考会を兼ねました。総合成績は、男子・女子ともに鹿屋体育大学が優勝しました。高地屋外トラックであること、近年の競技力向上の成果もあり、多くの大会新記録と学連新記録が達成され、近年の学生競技者の競技水準向上が感じられる大会となりました。

・全日本学生選手権個人ロードレース大会：

例年にならい長野県木曽郡木祖村 奥木曽湖・味噌川ダム周回コースにて男子181km、女子100kmで行われました。男子は東京大学の浦佑樹選手が、女子は駒澤大学の榎木祥子選手が優勝。男子は欧州派遣代表選考会のひとつとして位置づけられました。

・全日本学生選手権トラック大会：

静岡県・伊豆ベロドローム（屋内250m）で開催され、3つの大会新記録が達成されました。

・チームロード：

前年に引き続き埼玉県加須市・羽生市の利根川河川敷にて開催されました。走路幅が狭い等の弱点があるものの、首都圏からのアクセスに優れ多くの観客・応援者がかけつけました。スタート・フィニッシュ地点は昨年に引き続き「おおとね童謡のふるさと室」で、補給地点を折返し近傍に設置され、上位8チームには車輪サポート用オートバイの伴走が用意されました。鹿屋体育大学が優勝しました。

・全日本学生クリテリウム選手権：滋賀県東近江市で開催されました。

・東西学生選手権トラック：

東西共に2日間開催として開催されました。東日本は山梨県境川自転車競技場で、西日本は大阪・岸和田競輪場で開催されました。

5 強化・普及大会の開催

・全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ

シリーズ戦は2005年度2戦を皮切りに現在は15戦程度が行われ、明治神宮外苑大学クリテリウムを最終戦とするスタイルが定着しています。各地の都道府県連盟と連携して企画され、学生競技者の大会参加機会増大・地域における自転車競技活性化の両面において一定の成果をあげ、選手権大会の参加資格を持たない選手にとっては参加資格を得る機会数の増大、すでに参加資格を持っている選手にとっては実戦レースに於ける技量の高揚の効果が、近年の新規加盟校・新規登録選手の増大にも寄与していると考えられます。当年度は、「明治神宮外苑大学クリテリウム」が10回目を迎え、オランダ・アムステルダム大学チームが参戦して積極的なレースが行われ、多くの観客の皆様がお越しになり、三笠宮彬子女王殿下も観戦にお越し頂く光栄に浴しました。東京臨海部における「湾岸クリテリウム」も東京都心部開催クリテリウムとして定着しました。シリーズ戦は基本的に競輪補助金に依存せず、参加料・一般企業協賛金・開催地地方公共団体の協力により運営するスタイルをすでに確立していますが、今後の補助金減少に左右されずに学生競技者の走る機会を確保する努力が引き続き必要と考えられます。

・ロードカテゴリ制

ロード選手のカテゴリを実力別にクラス1, 2, 3, に分類し、選手権大会の参加資格者が決まる制度も定着してきました。これにより、本戦参加時までのレース経験度が上がり、選手権大会の安全性・競技レベルが向上しつつあると考えられます。クラス2の層の厚みが増したため、選手権大会でのエントリー資格はクラス2に限られるようになりました。クラス3は実力差の幅が広がりつつあり、特に春先の飯山ラウンドなどにおいてスキルアップ講習などの対応を行っています。

・全日本学生トラック・レース・シリーズ

ポイントレースなど競走系種目の実戦経験レベル向上を目指して開始されたTRSも、参加資格取得のための記録会的性格も備えて参加者も増え、定着してきました。近年の選手権大会での大会新記録・学連新記録の続出に寄与して成果をあげていると考えられます。

6 国際大会の開催・参加

・「寛仁メモリアルワールドグランプリ」を本連盟主催事業として2016年2月に伊豆ベロドロームにて実施しました。UCIカレンダー登録クラス3の大会としてUCIポイントが獲得可能な大会で、トラックレースシリーズ最終戦と併行開催することにより、学生がUCIポイントを獲得するチャンスをより広く確保することに貢献しています。当日は、三笠宮彬子女王殿下も観戦にお見えになりました。

・世界大学選手権が2016年3月にフィにピンで開催され、代表チームを派遣しました。ロード・クリテリウムで女子4位、マウンテンバイクで男女銅メダル2つを獲得しました。

・第一回アジア大学選手権ロードレースが7月に韓国で開催され、日本から代表チーム、鹿屋体育大学チームが参加しました。ロード、クリテリウム、ヒルクライムが実施され、個人種目では優勝を逃したものの、クリテリウム総合成績でチーム優勝を果たしました。

・日本で開催されたアジア選手権において、橋本英也（鹿屋体育大学）がオムニウム、倉林巧和（日本体育大学大学院）がスクラッチで優勝し、苦戦する日本チームに貴重な金メダルをもたらすなど、本連盟加盟チーム所属もしくは卒業の選手が活躍しました。また、大会運営においても本連盟関係者の助力が大きかったといえます。

・日韓学生対抗自転車競技大会が韓国で開催されました。

7 会議・事業運営

2015年度役員により運営されました。大会準備会合は毎週水曜日夜の定例会議を中心に進められました。日程に従い評議員会、理事会、委員会等を開催しました。

各大会の準備および当日の運営にあたっては、当番校からの学生委員も前年より多数の参加が得られるようになり、自分達ならびに後輩の走る機会を自ら確保する、という運営形態をより強固なものとしつつあります。本年度より、パールイズミ株式会社さまから運営用車両の貸与を受け、競技大会運営に使用させて頂いております。

8 むすび

加盟校数・登録選手数など裾野の拡大は、一進一退を経ながらもゆるやかに進行しており、当年度は過去最高の登記者数を記録しました。海外における大会での本連盟学生選手ならびに本連盟出身選手の活躍も活発化しつつあります。

シリーズ戦の地方開催など、自転車競技の普及発展にも一定の成果を上げ、それがインカレへの注目度の高まりにも貢献し、継続可能な体制に向けて事務局運営の見直し、学生委員・当番校制度の活性化が定着してきております。多くの関係者が連盟運営にかかわりつつ、低コストで高度な運営が可能な体質獲得に向けて一層の努力を続けていくことが望まれところであります。

日本学生自転車競技連盟2015年度 最優秀選手

※トラック/ロード ランキング年間最上位者

男子	トラック	小原 佑太（朝日大学）	ロード	浦 佑樹（東京大学）
女子	トラック	清水 知美（八戸学院大学）	ロード	齋藤 望（日本体育大学）
全日本学生ロードレースカップシリーズ総合：				小林 和希（明治大学）

日本学生自転車競技連盟 JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館4階〒150-8050
ホームページ : <http://jicf.info/>
電子メール : jicf@remus.dti.ne.jp